

## 6. 令和6年の地盤沈下

Land Subsidence due to Groundwater Withdrawal, 2024

東京都建設局総務部技術管理課 糸山 温英(前 東京都土木技術支援・人材育成センター技術支援課)

國分 邦紀

(公財)東京都道路整備保全公社道路部土木技術課 大石 雅登、上之原 一有、松浦 祐子

### 1. 調査内容

令和6年の地盤沈下調査の内容は、次のとおりである。期間は1月1日からの1年間である。

#### (1) 水準測量による調査

東京都と国土地理院は、421点の水準基標について、測量延長562kmの1級水準測量を実施し、その測量成果をもとに、地表面の変動状況を調査した。なお、測量延長の内訳は東京都が510km、国土地理院が52kmである。調査地域は図-1に示すとおり、瑞穂町から青梅市、八王子市などを通り、日野市、多摩市から

町田市に至る線の東側の地域である。地形的には都内の台地部及び低地部の全域（港湾局所管の港湾区域を除く）に当たる。面積は1,020km<sup>2</sup>である。

#### (2) 観測井による調査

42地点に設置してある91観測井において、地層別の変動状況及び被圧地下水位の変動状況を調査した（図-1、表-1）。このうち、15観測井については、沈下計により地層別変動状況の連続観測を実施した。なお、浅井戸として13観測井を設け不圧地下水位も観測したが、本文では調査結果は割愛している。

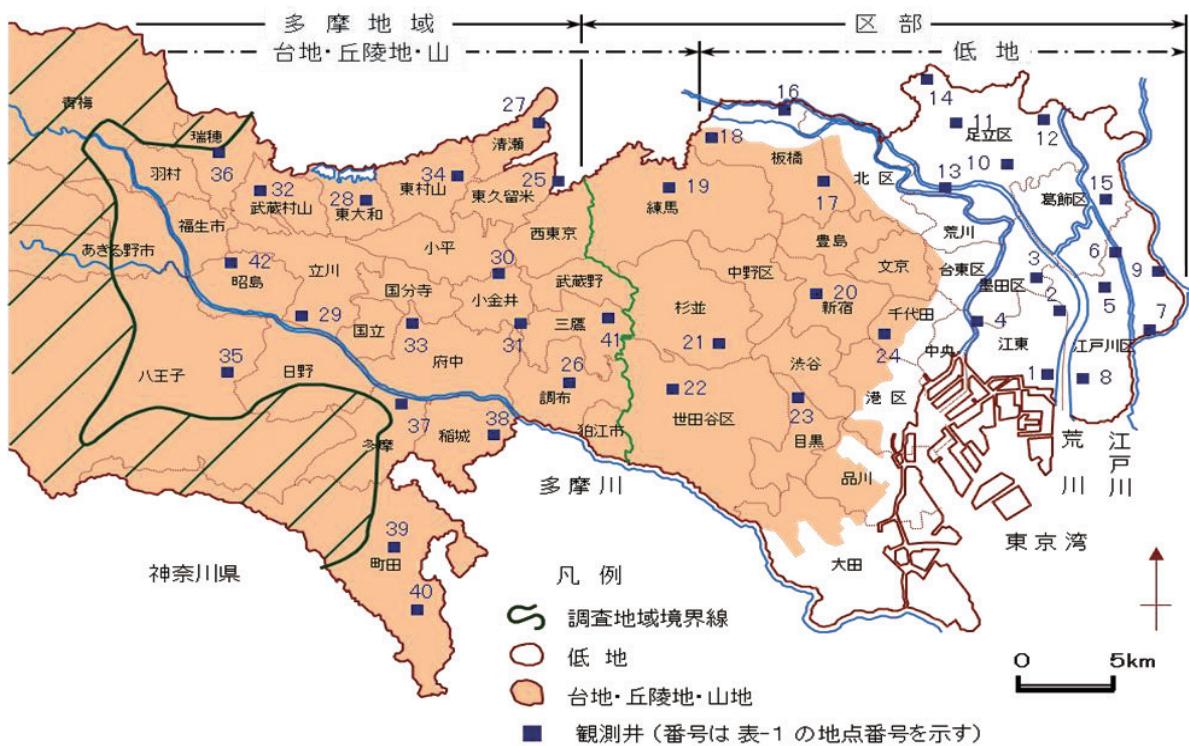


図-1 調査地域と観測井配置図

表-1(1) 観測井一覧表（区部）

(令和6年12月現在)

地 域	地 点 No	整 理 No	鉄 管 No	観 测 井 名	所 在 地	設 置 年 月	鉄 管 深 さ (m)	鉄 管 の 径 (cm)	ストレーナ の 深 さ (m)
江 東 区	1	1	研 15	南砂町 第1	南砂三丁目、南砂少年野球場東側脇	昭 29.5	70	20	65~ 70
		2	" 23	" 第2		" 36.3	130	20	125~ 130
	2	3	研 12	亀 戸 第1	亀戸九丁目、江東区亀戸福祉園北側	昭 27.6	61	20	56~ 61
		4	" 22	" 第2		" 35.6	144	20	139~ 144
墨 田 区	3	5	研 13	吾 嫣 A	立花五丁目、下水道局吾嬬ポンプ所内	昭 28.5	47	20	42~ 47
		6	" 16	B		" 30.6	115	20	108~ 115
江 戸 川 区	4	7	研 65	両 国 第1 *	両国一丁目、隅田川両国橋下流左岸	昭 49.3	38	8	35~ 37
		8	" 66	" 第2		" 49.3	126	20	76~ 87
	5	9	研 29	新江戸川第1(浅井戸)	松島二丁目、都立江戸川高校内南角	昭 38.12	71	5	2~ 10
	5	10	" 30	" 第2		昭 38.12	151	20	129~ 150
		11	" 31	" 第3 *		" 41.12	450	10	313~ 346
	6	12	研 28	小 岩	上一色三丁目、都五建江戸川北工区内	昭 38.8	56	20	47~ 55
	7	13	研 38	江戸川東部		昭 45.3	70	20	62~ 67
	7	14	" 39	" 第2	江戸川三丁目、八雲神社向側	" 45.3	161	20	150~ 160
		15	" 40	" 第3 *		" 45.3	400	15	291~ 306
	8	16	研 48	小 島 第1	西葛西二丁目、八幡神社向側	昭 47.3	40	8	37~ 40
		17	" 49	" 第2		" 47.3	80	20	70~ 77
		18	" 50	" 第3		" 47.3	150	20	123~ 134
		19	" 51	" 第4 *		" 47.3	270	15	212~ 229
	9	20	研 52	篠 崎 第1	上篠崎一丁目、都立篠崎公園北東角	昭 47.3	65	20	55~ 60
		21	" 53	" 第2 *		" 47.3	265	15	250~ 260
		22	" 54	" 第3 *		" 47.3	340	15	300~ 315
足 立 区	10	23	研 32	新足立	中央本町一丁目、都立足立高校内南西角	昭 43.3	270	20	224~ 234
	11	24	研 55	伊 興		昭 47.6	120	20	87~ 115
	12	25	研 42	神明南 第1	神明南二丁目、足立区神明南材料置場内	昭 46.3	110	20	99~ 104
	26	" 43	" 第2	" 46.3		180	20	170~ 177	
	27	" 44	" 第3 *	" 46.3		380	15	304~ 330	
	13	28	研 103	小 台 第1	小台一丁目、尾久橋高架下	平 2.3	50	20	40~ 45
	29	" 104	" 第2	" 2.3		170	20	148~ 160	
	30	" 105	" 第3 *	" 2.3		300	15	212~ 234	
	14	31	浅 1	舍 人 (浅井戸)	舍人六丁目、舍人いきいき公園北東角	昭 49.3	6	7	2~ 6
		32	研 62	舍 人 第1		" 49.3	27	7	22~ 27
		33	" 63	" 第2 *		" 49.3	200	15	172~ 184
		34	" 64	" 第3 *		" 49.3	340	15	290~ 302
葛 飾 区	15	35	研 41	高 砂	高砂四丁目、高砂北公園西側	昭 46.3	124	20	118~ 123
板 橋 区	16	36	研 24	戸 田 橋 第1 *	舟渡四丁目、都土木技術支援センター 戸田橋実験場内	昭 36.6	290	8	258~ 268
	17	37	" 25	" 第2 *		" 36.10	113	8	103~ 113
	18	38	" 26	" 第3		" 37.9	60	20	51~ 59
	17	39	研 36	板 橋	富士見町、都営板橋富士見町アパート東側	昭 44.3	270	20	188~ 199
	18	40	研 56	上赤塚 第1	赤塚三丁目、上赤塚公園北角	昭 48.3	150	20	111~ 122
練 馬 区	19	41	" 57	" 第2 *		" 48.3	250	15	189~ 211
	42	" 58	"	第3 *		" 48.3	400	15	327~ 355
新 宿 区	20	43	研 34	練 馬 第1	谷原四丁目、練馬区谷原材料置場内	昭 44.3	100	20	87~ 97
	44	" 35	"	第2		" 44.3	200	20	185~ 195
杉 並 区	21	45	研 33	新 宿	百人町三丁目、百人町ふれあい公園南側	昭 44.1	130	20	114~ 125
	21	46	浅 11	杉 並 (浅井戸)	大宮二丁目、都立和田堀公園 グランド北側脇	平 5.3	10	20	4~ 8
		47	研 110	杉 並 *		" 5.3	180	15	115~ 143
世 田 谷 区	22	48	研 111	世 田 谷	粕谷一丁目、都立芦花公園南西側	平 6.3	130	20	87~ 109
目 黒 区	23	49	浅 12	目 黒 (浅井戸)	青葉台三丁目、大坂橋交差点付近	平 6.3	15	20	9~ 13
	50	研 112	目 黒	" 6.3		156	20	125~ 147	
千代田区	24	51	研 113	千 代 田 第1	紀尾井町、清水谷公園北角	平 7.3	33	20	19~ 28
		52	" 114	" 第2		" 7.3	113	20	92~ 109

(注) 1. 「観測井名」で、\*印がついたものは二重管式観測井、(浅井戸)は不圧地下水位観測井を表す。

2. 「鉄管深さ」および「ストレーナの深さ」は、いずれも設置時における地表面からの深さである。

3. 新江戸川第1は、浅層部から不圧地下水の流入があったため、平成15年3月、浅井戸に改修した。

4. 篠崎観測所については、江戸川河川堤防工事のため、令和5年8月末日で自記式水位計による観測は休止。

表一(2) 観測井一覧表 (多摩地域)

(令和6年12月現在)

地 域	地 点 No	整 理 No	鉄 管 No	観 测 井 名	所 在 地	設 置 年 月	鉄管 深さ (m)	鉄管 の 径 (cm)	ストレーナ の 深 さ (m)
東久留米市	25	53	浅 2	東久留米 (浅井戸)	神宝町一丁目、黒目川・落合川合流点付近	昭 49.3	5	20	4~ 5
		54	研 59	東久留米 第1		" 48.2	92	20	85~ 90
		55	" 60	第2		" 49.3	175	20	158~ 169
		56	" 61	第3 *		" 49.3	441	15	393~ 417
調布市	26	57	研 67	調 布 第1	調布ヶ丘三丁目、野川虎狛橋下流右岸	昭 50.3	26	20	20~ 25
		58	" 68	第2		" 50.3	56	20	43~ 53
		59	" 69	第3		" 50.3	101	20	84~ 95
		60	" 70	第4 *		" 50.3	171	15	146~ 162
清瀬市	27	61	浅 3	清 濑 (浅井戸)	中清戸四丁目、清瀬第八小学校南側脇	昭 50.3	10	20	7~ 9
		62	研 71	清 濑 第1		" 50.3	94	20	77~ 83
		63	" 72	第2 *		" 50.3	207	15	158~ 186
		64	" 73	第3 *		" 50.3	450	15	385~ 407
東大和市	28	65	浅 4	東大和 (浅井戸)	奈良橋三丁目、東大和第一中学校北東角	昭 53.3	12	20	9~ 11
		66	研 74	東大和 第1		" 53.3	92	20	75~ 81
		67	" 75	第2 *		" 53.3	175	15	154~ 165
		68	" 76	第3 *		" 53.3	260	15	226~ 248
立川市	29	69	浅 5	立 川 (浅井戸)	富士見町三丁目、残堀川滝下付近	昭 54.3	8	20	5~ 7
		70	研 77	立 川 第1		" 54.3	108	20	90~ 102
		71	" 78	第2 *		" 54.3	280	15	238~ 255
小金井市	30	72	研 79	小 金 井 第1	桜町三丁目、都立小金井公園西門付近	昭 55.3	95	20	71~ 83
		73	" 80	第2 *		" 55.3	162	15	140~ 151
		74	" 81	第3 *		" 55.3	296	15	243~ 259
	31	75	浅 10	小金井南 (浅井戸)	東町五丁目、都立武蔵野公園内 野球場南東脇	平 4.3	10	20	3~ 8
	31	76	研 108	小金井南 第1		" 4.3	130	20	114~ 125
	31	77	" 109	第2 *		" 4.3	210	15	167~ 189
武蔵村山市	32	78	研 82	武蔵村山 第1	三ツ藤三丁目、山王森公園南角	昭 56.3	103	20	94~ 100
		79	" 83	第2 *		" 56.3	189	15	164~ 175
		80	" 84	第3 *		" 56.3	280	15	254~ 265
府中市	33	81	研 85	府 中 第1	武蔵台二丁目、武蔵台小学校北東側	昭 57.3	34	20	28~ 33
		82	" 86	第2 *		" 57.3	174	15	142~ 153
		83	" 87	第3 *		" 57.3	290	15	213~ 241
東村山市	34	84	研 88	東 村 山 第1	久米川町二丁目、空堀川達磨坂橋下流左岸	昭 58.3	44	20	37~ 42
		85	" 89	第2 *		" 58.3	201	15	170~ 181
		86	" 90	第3 *		" 58.3	294	15	257~ 273
八王子市	35	87	浅 6	八 王 子 (浅井戸)	大和田町二丁目、南多摩西部建設事務所 水防倉庫西側脇	昭 59.3	10	20	5~ 10
		88	研 91	八 王 子 第1		" 59.3	105	20	88~ 100
		89	" 92	第2 *		" 59.3	220	15	148~ 175
瑞穂町	36	90	研 93	瑞 穂 第1	箱根ヶ崎、西多摩建設事務所箱根ヶ崎 排水調整場南西角	昭 60.3	94	20	76~ 93
		91	" 94	第2 *		" 60.3	180	15	142~ 169
多摩市	37	92	浅 13	新 多 摩 (浅井戸)	閔戸三丁目、多摩中学校北西角	平 11.2	10	20	5~ 10
		93	研 115	新 多 摩		" 11.2	180	20	92~ 125
稻城市	38	94	研 96	稻 城 *	矢野口、稻城第三中学校北西角	昭 62.3	220	15	189~ 211
		95	研 97	町 田 第1		昭 63.3	100	20	72~ 84
町田市	39	96	" 98	第2 *	野津田町、薬師池公園内 町田市フォトサロン北東側	" 63.3	190	15	147~ 169
		97	研 106	町 田 南 第1		平 3.3	60	20	42~ 53
	40	98	" 107	第2 *		" 3.3	225	15	176~ 203
		99	浅 8	三 鷹 (浅井戸)	高ヶ坂三丁目、高瀬第2公園西側脇	平 元.3	15	20	10~ 15
三鷹市	41	100	研 99	三 鷹 第1		" 元.3	118	20	97~ 113
		101	" 100	第2 *		" 元.3	260	15	178~ 233
		102	浅 9	昭 島 (浅井戸)		平 2.3	13	20	8~ 13
昭島市	42	103	研 101	昭 島 第1	美堀町三丁目、昭島市エコ・パーク北西脇	" 2.3	110	20	92~ 103
		104	" 102	第2 *		" 2.3	236	15	187~ 210

(注) 1.「観測井名」で、\*印がついたものは二重管式観測井、(浅井戸)は不圧地下水位観測井を表す。

2.「鉄管深さ」および「ストレーナの深さ」は、いずれも設置時における地表面からの深さである。

3. 沈下計設置の観測井は、南砂町第1、両国第1、江戸川東部第1、神明南第1、小台第1、舎人第1、高砂、戸田橋第2、練馬第2、新宿、世田谷、清瀬第3、府中第3、町田第2、昭島第2の15井である。

## 2. 調査結果

### (1) 水準測量および観測井による地盤の変動状況

水準測量による地表面の変動状況を図-2に、最近5年間の地盤変動量と最近10年間の地盤変動量を図-3と図-4に示した。また、表-2には観測井による地層別の変動状況を示した。

本年の地盤沈下状況は、区部、多摩地域ともに2cm以上沈下した地域はない。1cm以上沈下したのは区部の0.2km<sup>2</sup>であり、最大沈下量は文京区千石一丁目にある水準基標、小(12)の1.17cmである。また、多摩の最大沈下量は八王子市中野上町二丁目にある水準基標、八王(8)の0.20cmである。

一方、2cm以上隆起した地域はなく、最大隆起量は国分寺市本多一丁目にある水準基標、国分(3)の

1.50cmである。また、区部での最大隆起量は大田区蒲田三丁目にある水準基標、蒲(19)の0.89cmである。

図-3は最近5年間の地盤変動量図、図-4は最近10年間の変動量図である。

各地に設置してある観測井による地層別の変動状況を表-2から概観すると、鉄管底から下の地層の変動量によって観測される深層部では、区部、多摩地域とも膨張を示す観測井が多い。一方、浅層部（地表面から鉄管底までの間の地層の変動量）では、区部は収縮を、多摩地域は膨張を示す観測井が多い。前年の令和5年と比較すると、区部の深層部及び多摩地域の浅層部で収縮から膨張に転じた観測井が多くみられる。

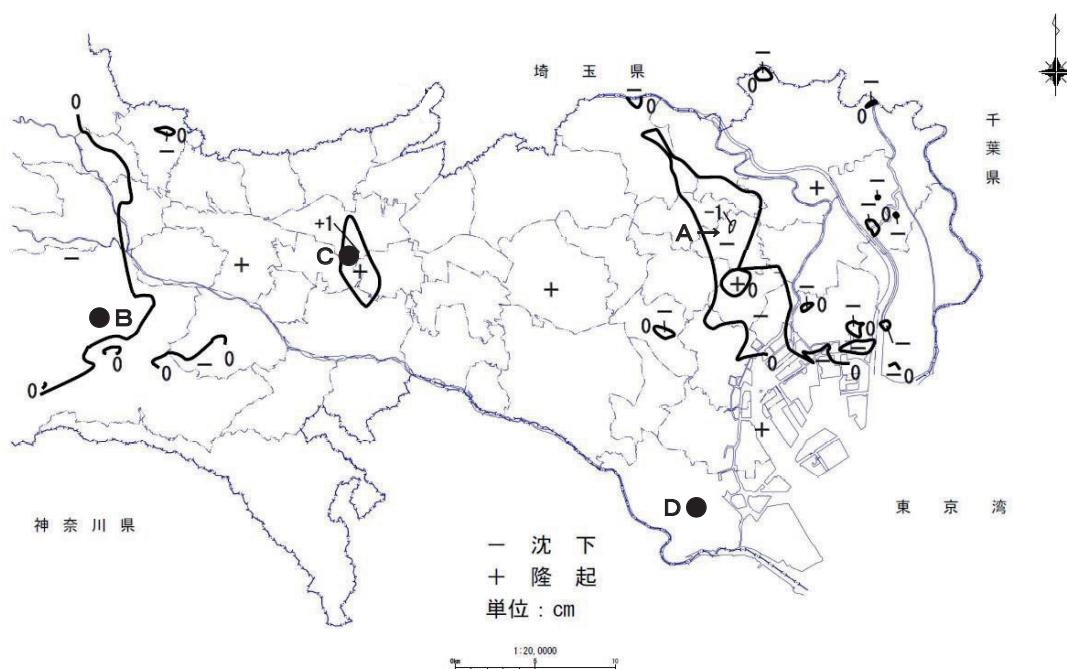


図-2 令和6年の地盤変動量図

(注) 図中のAの文京区千石一丁目にある水準基標：小(12)では都内最大沈下量1.17cmが、Bの八王子市中野上町二丁目の八王(8)では多摩地域最大沈下量0.20cmが、Cの国分寺市本多一丁目の国分(3)では都内最大隆起量1.50cmが、Dの大田区蒲田三丁目の蒲(19)では区部最大隆起量0.89cmが測定された。

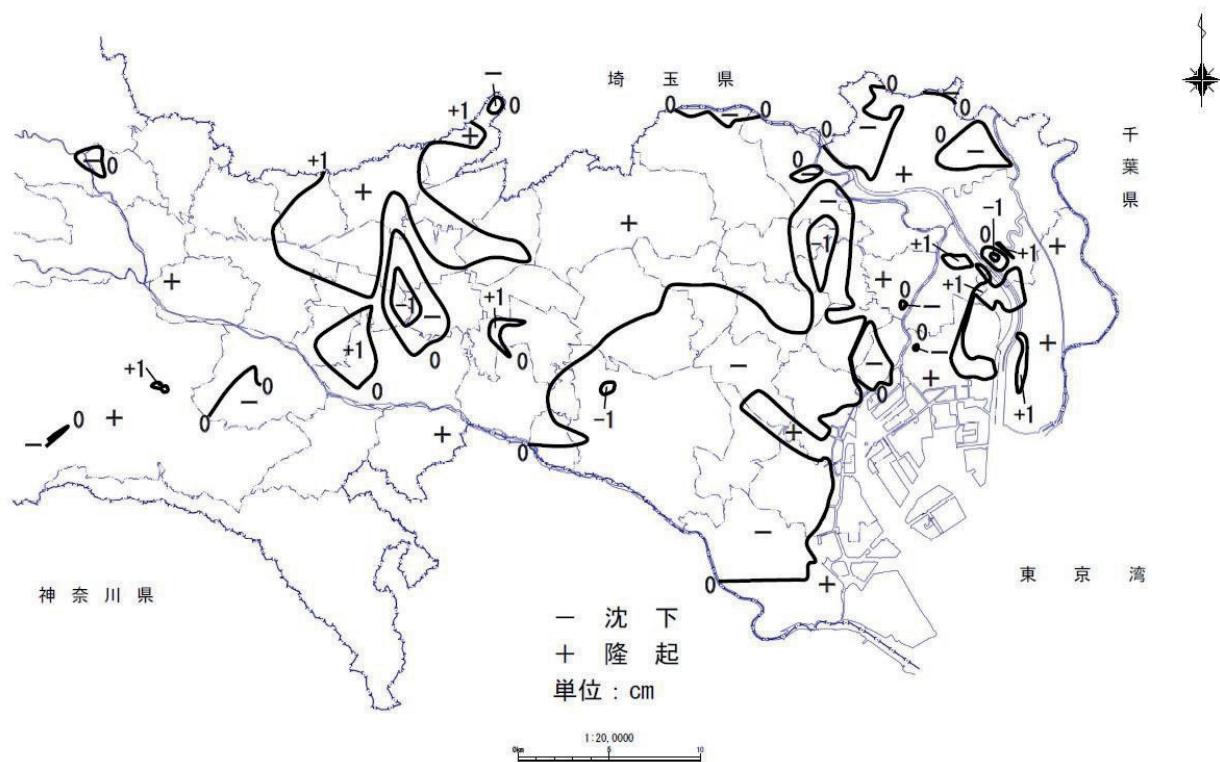


図-3 最近5年間の地盤変動量図（令和2年～令和6年）

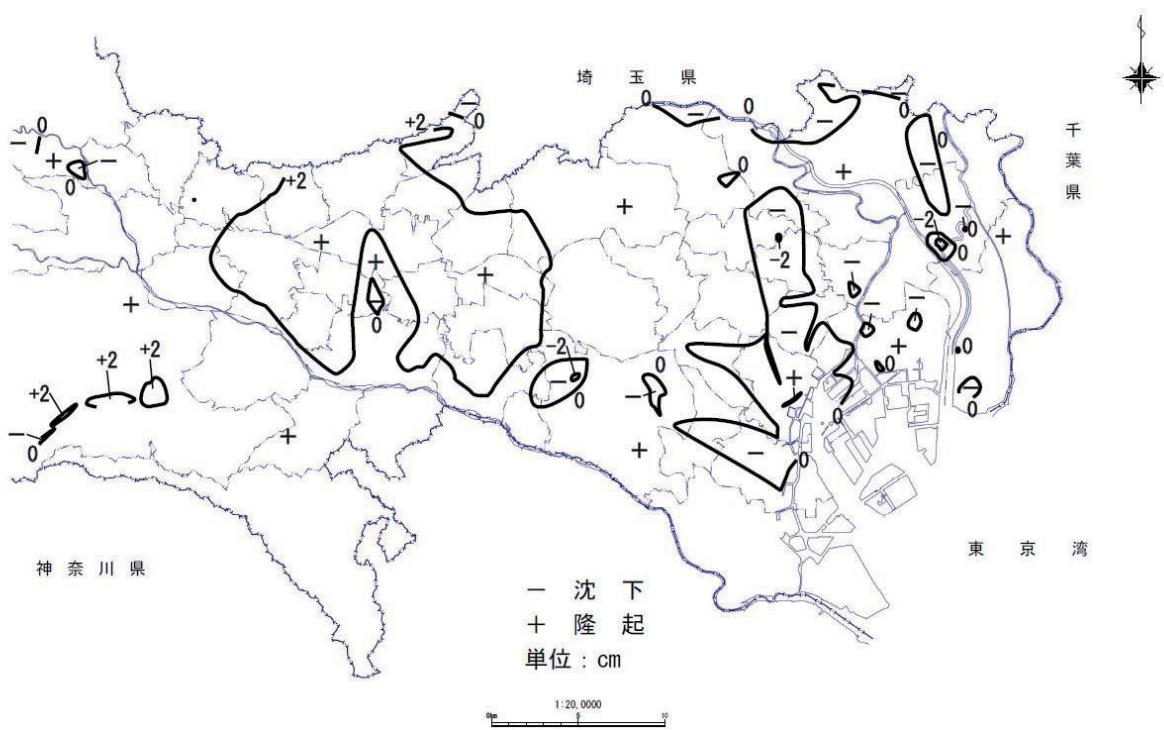


図-4 最近10年間の地盤変動量図（平成27年～令和6年）

表一2(1) 観測井による地層別変動量(区部)

単位:cm/年

地 域	鉄管 番号	観測井名	鉄管の 深さ (m)	地表面から鉄管底までの 間の地層の変動量			鉄管底から下の地層の 変動量(鉄管の変動量)			全 变 動 量 (ほぼ地表面の変動量)		
				令和 4年 (A)	令和 5年 (B)	令和 6年 (C)	令和 4年 (D)	令和 5年 (E)	令和 6年 (F)	令和 4年 A+D	令和 5年 B+E	令和 6年 C+F
江 東 区	研 15 " 23	南 砂 町 第 1 " 第 2	70 130	-0.06 -0.05 *	-0.03 -0.02 *	-0.08 0.05 *	0.09 0.10	0.05 0.06	0.02 0.01	0.03 0.05	0.02 0.04	-0.06 0.06
	研 12 " 22	亀 戸 第 1 " 第 2	61 144	-0.06 * -0.06 *	-0.06 * -0.02 *	-0.02 * -0.01 *	0.14 0.14	-0.25 -0.29	0.32 0.31	0.08 0.08	-0.31 -0.31	0.30 0.30
墨 田 区	研 13 " 16	吾 嫁 A " B	47 115	-0.20 * -0.12 *	-0.04 * -0.05 *	-0.06 * -0.04 *	0.05 -0.03	-0.27 -0.26	0.35 0.33	-0.15 -0.15	-0.31 -0.31	0.29 0.29
	研 65 " 66	両 国 第 1 " 第 2	38 126	0.04 0.00 *	-0.03 0.00 *	-0.01 -0.02 *	0.17 0.16	-0.32 -0.31	0.14 0.14	0.21 0.16	-0.35 -0.31	0.13 0.12
江 戸 川 区	研 29 " 30 " 31	新 江 戸 川 第 1 " 第 2 " 第 3	71 151 450	-0.05 * -0.10 * -0.07 *	-0.08 * -0.11 * -0.09 *	-0.06 * -0.07 * -0.08 *	0.25 0.30 0.27	-0.47 -0.44 -0.46	0.40 0.41 0.42	0.20 0.20 0.20	-0.55 -0.55 -0.55	0.34 0.34 0.34
	研 28	小 岩	56	-0.03 *	-0.07 *	-0.05 *	0.23	-0.22	0.18	0.20	-0.29	0.13
	研 38 " 39 " 40	江 戸 川 東 部 第 1 " 第 2 " 第 3	70 161 400	-0.17 -0.10 * -0.04 *	-0.44 -0.10 * -0.08 *	-0.14 -0.13 * -0.08 *	-0.29 -0.29 -0.35	-0.19 -0.20 -0.22	0.19 0.20 0.15	-0.46 -0.39 -0.39	-0.63 -0.30 -0.30	0.05 0.07 0.07
	研 48 " 49 " 50 " 51	小 島 第 1 " 第 2 " 第 3 " 第 4	40 80 150 270	-0.08 * -0.07 * -0.07 * -0.06 *	-0.07 * -0.06 * -0.07 * -0.05 *	-0.06 * -0.08 * -0.06 * -0.05 *	0.04 0.03 0.03 0.02	-0.08 -0.09 -0.08 -0.10	0.11 0.13 0.11 0.10	-0.04 -0.04 -0.04 -0.04	-0.15 -0.15 -0.15 -0.15	0.05 0.05 0.05 0.05
	研 52 " 53 " 54	篠 崎 第 1 " 第 2 " 第 3	65 265 340	-0.05 * 0.62 * -0.06 *	-- * -- * -- *	-- * -- * -- *	0.12 0.08 0.13	-- -- --	-- 0.70 0.07	0.07 -- --	-- -- --	-- -- --
	研 32	新 足 立	270	0.04 *	-0.03 *	-0.02 *	0.29	-0.48	0.13	0.33	-0.51	0.11
	研 55	伊 興	120	-0.03 *	-0.11 *	-0.02 *	0.44	-0.11	0.05	0.41	-0.22	0.03
	研 42 " 43 " 44	神 明 南 第 1 " 第 2 " 第 3	110 180 380	0.00 -0.10 * 0.03 *	-0.04 -0.23 * -0.32 *	-0.02 -0.09 * -0.05 *	0.53 0.56 0.43	-0.30 -0.32 -0.23	0.11 0.10 0.06	0.53 0.46 0.46	-0.34 -0.55 -0.55	0.09 0.01 0.01
	研 103 " 104 " 105	小 台 第 1 " 第 2 " 第 3	50 170 300	0.01 0.00 * 0.05 *	-0.02 -0.02 * -0.01 *	0.01 0.01 * 0.05 *	0.02 0.00 -0.05	-0.19 -0.19 -0.20	0.30 0.31 0.27	0.03 0.00 0.00	-0.21 -0.21 -0.21	0.31 0.32 0.32
	研 62 " 63 " 64	舍 人 第 1 " 第 2 " 第 3	27 200 340	-0.11 -0.07 * -0.05 *	-0.10 -0.10 * -0.13 *	-0.08 -0.07 * -0.07 *	0.66 0.58 0.56	-0.40 -0.37 -0.34	0.02 0.02 0.02	0.55 0.51 0.51	-0.50 -0.47 -0.47	-0.06 -0.05 -0.05
葛 飾 区	研 41	高 砂	124	-0.01	-0.33	-0.02	0.40	-0.46	0.33	0.39	-0.79	0.31
板 橋 区	研 24 " 25 " 26	戸 田 橋 第 1 " 第 2 " 第 3	290 113 60	-0.22 * -0.20 -0.24 *	-0.26 * -0.62 -0.31 *	-0.20 * -0.40 -0.18 *	-0.09 -0.12 -0.07	-0.12 -0.09 -0.07	0.12 0.11 0.10	-0.31 -0.32 -0.31	-0.38 -0.29 -0.38	-0.08 -0.29 -0.08
	研 36	板 橋	270	-0.06 *	-0.12 *	0.13 *	0.07	-0.16	0.19	0.01	-0.28	0.32
	研 56 " 57 " 58	上 赤 塚 第 1 " 第 2 " 第 3	150 250 400	-0.03 * 0.04 * 0.06 *	-0.04 * -0.03 * 0.04 *	0.01 * 0.01 * 0.01 *	0.05 -0.02 -0.04	-0.13 -0.14 -0.21	0.45 0.45 0.45	0.02 0.02 0.02	-0.17 -0.17 -0.17	0.46 0.46 0.46
練 馬 区	研 34 " 35	練 馬 第 1 " 第 2	100 200	0.00 *	-0.03 *	0.01 *	-0.16 -0.16	0.02 0.01	0.34 0.33	-0.16 -0.18	-0.01 -0.01	0.35 0.33
新 宿 区	研 33	新 宿	130	0.00	-0.03	-0.01	0.01	-0.26	-0.33	0.01	-0.29	-0.34
杉 並 区	研 110	杉 並	180	-0.05 *	-0.11 *	0.03 *	-0.05	-0.22	0.20	-0.10	-0.33	0.23
世 田 谷 区	研 111	世 田 谷	130	-0.04	-0.50	-0.12	-0.36	-0.26	0.50	-0.40	-0.76	0.38
目 黒 区	研 112	目 黒	156	0.00 *	0.01 *	0.00 *	-0.08	-0.08	0.25	-0.08	-0.07	0.25
千 代 田 区	研 113 " 114	千 代 田 第 1 " 第 2	33 113	-0.06 * -0.06 *	-0.08 * -0.08 *	0.13 * 0.13 *	-0.03 -0.03	-0.17 -0.17	-0.05 -0.05	-0.09 -0.09	-0.25 -0.25	0.08 0.08

- (注) 1. A、B、C、D、E、F欄はそれぞれの年間変動量で、「-」符号は収縮、「符号なし」は膨張を示す。  
 2. \*印は計器が設置されていないため、近接地の水準基標の水準測量結果(全変動量欄の値)から「鉄管底から下の地層の変動量」を引算した値である。  
 3. 篠崎第1～第3観測井は江戸川河川堤防工事に伴い令和5年8月末日以降、水準測量を実施していないためデータがない。

表-2(2) 観測井による地層別変動量(多摩地域)

単位:cm/年

地 域	鉄管 番号	観測井名	鉄管の 深さ (m)	地表面から鉄管底までの 間の地層の変動量			鉄管底から下の地層の 変動量(鉄管の変動量)			全 変 動 量 (ほぼ地表面の変動量)		
				令和 4 年 (A)	令和 5 年 (B)	令和 6 年 (C)	令和 4 年 (D)	令和 5 年 (E)	令和 6 年 (F)	令和 4 年 A+D	令和 5 年 B+E	令和 6 年 C+F
東久留米市	研 59	東久留米 第 1	92	-0.06 *	-0.10 *	-0.06 *	0.41	-0.01	0.36	0.35	-0.11	0.30
	" 60	" 第 2	175	-0.08 *	-0.08 *	-0.06 *	0.43	-0.03	0.36	0.35	-0.11	0.30
	" 61	" 第 3	441	0.04 *	0.19 *	0.12 *	0.31	-0.30	0.18	0.35	-0.11	0.30
調布市	研 67	調布 第 1	26	-0.02 *	-0.03 *	0.03 *	0.34	0.31	0.52	0.32	0.28	0.55
	" 68	" 第 2	56	-0.01 *	0.00 *	0.00 *	0.33	0.28	0.55	0.32	0.28	0.55
	" 69	" 第 3	101	-0.01 *	0.00 *	0.00 *	0.33	0.28	0.55	0.32	0.28	0.55
	" 70	" 第 4	171	0.09 *	0.16 *	0.01 *	0.23	0.12	0.54	0.32	0.28	0.55
清瀬市	研 71	清瀬 第 1	94	-0.01 *	-0.07 *	0.04 *	0.44	0.12	0.51	0.43	0.05	0.55
	" 72	" 第 2	207	-0.02 *	-0.03 *	0.15 *	0.45	0.08	0.40	0.43	0.05	0.55
	" 73	" 第 3	450	0.11	0.02	0.26	0.36	-0.01	0.35	0.47	0.01	0.61
東大和市	研 74	東大和 第 1	92	-0.01 *	0.02 *	0.01 *	0.19	0.11	0.47	0.18	0.13	0.48
	" 75	" 第 2	175	0.05 *	0.10 *	0.05 *	0.13	0.03	0.43	0.18	0.13	0.48
	" 76	" 第 3	260	0.08 *	0.16 *	0.07 *	0.10	-0.03	0.41	0.18	0.13	0.48
立川市	研 77	立川 第 1	108	-0.01 *	0.01 *	-0.01 *	-0.01	-0.03	0.35	-0.02	-0.02	0.34
	" 78	" 第 2	280	0.00 *	-0.02 *	0.11 *	-0.02	0.00	0.23	-0.02	-0.02	0.34
小金井市	研 79	小金井 第 1	95	-0.04 *	-0.17 *	0.18 *	0.52	0.18	0.29	0.48	0.01	0.47
	" 80	" 第 2	162	0.00 *	-0.16 *	0.28 *	0.48	0.17	0.19	0.48	0.01	0.47
	" 81	" 第 3	296	0.07 *	-0.11 *	0.32 *	0.41	0.12	0.15	0.48	0.01	0.47
	研 108	小金井南 第 1	130	-0.06 *	-0.32 *	0.04 *	0.47	0.02	0.62	0.41	-0.30	0.66
	" 109	" 第 2	210	0.00 *	-0.35 *	0.18 *	0.41	0.05	0.48	0.41	-0.30	0.66
武蔵村山市	研 82	武蔵村山 第 1	103	-0.02 *	-0.05 *	0.02 *	-0.19	-0.03	0.65	-0.21	-0.08	0.67
	" 83	" 第 2	189	-0.07 *	-0.06 *	0.08 *	-0.14	-0.02	0.59	-0.21	-0.08	0.67
	" 84	" 第 3	280	-0.05 *	-0.05 *	0.10 *	-0.16	-0.03	0.57	-0.21	-0.08	0.67
府中市	研 85	府中 第 1	34	0.00 *	-0.03 *	0.01 *	0.19	0.37	0.34	0.19	0.34	0.35
	" 86	" 第 2	174	-0.10 *	-0.14 *	0.20 *	0.29	0.48	0.15	0.19	0.34	0.35
	" 87	" 第 3	290	0.18	-0.29	0.18	0.13	0.38	0.10	0.31	0.09	0.28
東村山市	研 88	東村山 第 1	44	-0.01 *	-0.03 *	0.05 *	0.08	0.19	0.57	0.07	0.16	0.62
	" 89	" 第 2	201	0.04 *	0.04 *	0.23 *	0.03	0.12	0.39	0.07	0.16	0.62
	" 90	" 第 3	294	0.07 *	0.06 *	0.26 *	0.00	0.10	0.36	0.07	0.16	0.62
八王子市	研 91	八王子 第 1	105	0.00 *	0.01 *	-0.02 *	0.28	-0.13	0.12	0.28	-0.12	0.10
	" 92	" 第 2	220	0.00 *	-0.02 *	0.02 *	0.28	-0.10	0.08	0.28	-0.12	0.10
瑞穂町	研 93	瑞穂 第 1	94	-0.36 *	-0.02 *	0.02 *	-0.40	0.23	0.18	-0.76	0.21	0.20
	" 94	" 第 2	180	-0.01 *	-0.02 *	0.03 *	-0.39	0.23	0.17	-0.40	0.21	0.20
多摩市	研 115	新多摩	180	-0.01 *	0.00 *	-0.03 *	0.70	0.11	0.27	0.69	0.11	0.24
稻城市	研 96	稻城	220	0.12 *	0.04 *	-0.15 *	0.26	0.31	0.19	0.38	0.35	0.04
町田市	研 97	町田 第 1	100	-0.99 *	0.00 *	-0.02 *	0.03	0.00	0.02	-0.96	0.00	0.00
	" 98	" 第 2	190	-0.01	-0.03	0.00	0.02	-0.03	0.03	0.01	-0.06	0.03
三鷹市	研 106	町田南 第 1	60	-0.53 *	0.00 *	0.00 *	0.03	0.00	0.00	-0.50	0.00	0.00
	" 107	" 第 2	225	-0.49 *	-0.02 *	-0.04 *	-0.01	0.02	0.04	-0.50	0.00	0.00
昭島市	研 99	三鷹 第 1	118	-0.01 *	-0.12 *	0.09 *	0.38	-0.07	0.56	0.37	-0.19	0.65
	" 100	" 第 2	260	0.14 *	-0.02 *	0.17 *	0.23	-0.17	0.48	0.37	-0.19	0.65
昭島市	研 101	昭島 第 1	110	-0.01 *	-0.01 *	0.02 *	0.20	0.18	-0.01	0.19	0.17	0.01
	" 102	" 第 2	236	-0.02	-0.04	0.38	0.19	-0.06	-0.05	0.17	-0.10	0.33

(注) 1. A、B、C、D、E、F欄はそれぞれの年間変動量で、「-」符号は収縮、「符号なし」は膨張を示す。

2. \*印は計器が設置されていないため、近接地の水準基標の水準測量結果(全変動量欄の値)から「鉄管底から下の地層の変動量」を引算した値である。

## (2) 観測井による地下水位の変動状況

観測井による地下水位とその変動状況を図-5、図-6、表-3にそれぞれ示した。

令和6年12月末日の地下水位（日平均水位）を地点<sup>注1)</sup>ごとにみると、足立区北東部で最も低く、ほぼT.P. 0m以下（T.P. は東京湾平均海面）であるが、西部に向かって次第に高くなり、多摩地域の八王子市や瑞穂町付近でおよそT.P. +80mとなっている（図-5）。

観測井ごとにみると、区部で最も低いのは足立区神明南二丁目にある神明南第2観測井のT.P. -8.46mであり、最も高いのは世田谷区粕谷一丁目にある世田谷観測井の T.P. +34.56mである（表-3(1)）。また、多摩地域のうち最も低いのは、三鷹市牟礼四

丁目にある三鷹第2観測井のT.P. +18.89mで、最も高いのは武藏村山市三ツ藤三丁目にある武藏村山第1観測井のT.P. +98.68mである（表-3(2)）。

1年間の変動状況をみると、地下水位は42地点のうち、37地点（区部21地点、多摩地域16地点）で上昇した<sup>注2)</sup>（図-6）。その変動状況を観測井ごとにみると、地下水位は91観測井のうち79井で上昇し、低下したのは8井である。上昇量が最も大きいのは府中市武蔵台二丁目にある府中第1観測井の2.55mであり、低下量が最も大きいのは稻城市矢野口にある稻城観測井の-4.11mである。なお、足立区舎人六丁目にある舎人第1観測井の水位は、令和3年6月に水質分析のために実施した採水以降、回復がきわめて緩慢なため参考値とし、集計には加えていない。

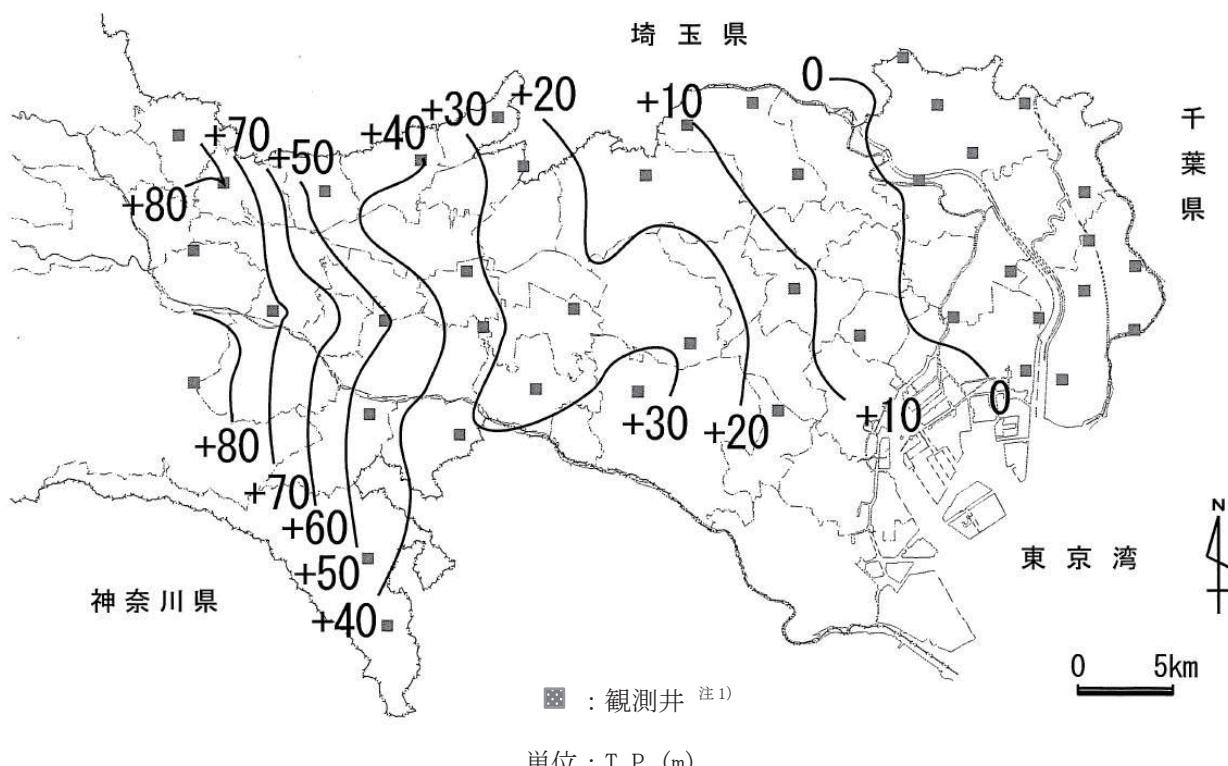
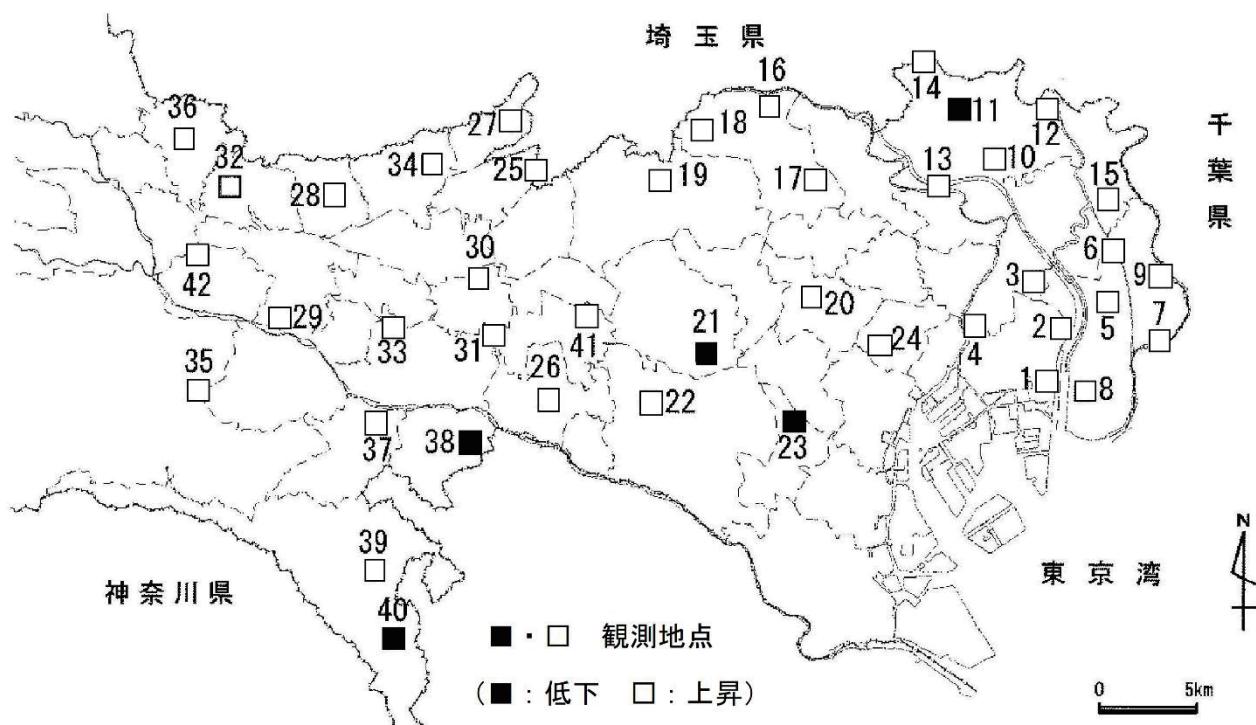


図-5 令和6年末の地下水位等高線図



※ 番号は表-1の観測井の地点No.

図-6 令和6年の地下水位変動状況図

注1) 各地点の地下水位は、複数の井戸がある観測所では平均値としている。

注2) 各地点の水位の上昇・低下は、複数の井戸がある観測所では上昇した井戸数と低下した井戸数での多数決で決定している。また、同数の場合は、上昇と低下それぞれの変動量の和の大小で決定している。

表-3(1) 観測井の地下水位と変動量(区部)

地 域	鉄管 No.	観 测 井 名	ストレーナ の 深 さ (m)	観測井 付近の 地盤高	基準面:T. P. 単位:m					
					令和3年 12月31日 A	令和4年 12月31日 B	令和5年 12月31日 C	令和6年 12月31日 D	R4~5年の 変動量 C-B	R5~6年の 変動量 D-C
江 東 区	研 15	南 砂 町 第1	65~ 70	-2. 2	-2.85	-2.78	-2.66	-2.53	0.12	0.13
	" 23	" 第2	125~130		-2.85	-2.81	-2.65	-2.53	0.16	0.12
墨 田 区	研 12	亀 戸 第1	56~ 61	-1. 8	-3.30	-3.25	-3.17	-3.02	0.08	0.15
	" 22	" 第2	139~144		-3.60	-3.46	-3.24	-3.08	0.22	0.16
江 戸 川 区	研 13	吾 嫁 A	42~ 47	-1. 0	-4.52	-4.52	-4.42	-4.33	0.10	0.09
	" 16	" B	108~115		-4.69	-4.58	-4.54	-4.41	0.04	0.13
足 立 区	研 65	両 国 第1	35~ 37	1. 9	-4.56	-4.59	-4.59	-4.50	0.00	0.09
	" 66	" 第2	76~ 87		-4.64	-4.68	-4.65	-4.57	0.03	0.08
葛 飾 区	研 30	新 江 戸 川 第2	129~150	-1. 6	-5.01	-4.77	-4.65	-4.49	0.12	0.16
	" 31	" 第3	313~346		-5.09	-4.79	-4.63	-4.51	0.16	0.12
練 馬 区	研 28	小 岩	47~ 55	2. 5	-0.79	-0.77	-0.96	-0.86	-0.19	0.10
	研 38	江 戸 川 東 部 第1	62~ 67		-2.15	-2.19	-2.33	-2.12	-0.14	0.21
新 宿 区	" 39	" 第2	150~160	1. 3	-4.20	-3.95	-3.88	-3.75	0.07	0.13
	" 40	" 第3	291~306		-4.94	-4.64	-4.50	-4.37	0.14	0.13
杉 並 区	研 48	小 島 第1	37~ 40		-2.23	-2.21	-2.19	-2.10	0.02	0.09
	" 49	" 第2	70~ 77	0. 1	-3.01	-2.91	-2.74	-2.58	0.17	0.16
世 田 谷 区	" 50	" 第3	123~134		-2.95	-2.83	-2.62	-2.47	0.21	0.15
	" 51	" 第4	212~229		-3.03	-2.91	-2.71	-2.56	0.20	0.15
千 代 田 区	研 52	篠 崎 第1	55~ 60		-1.20	-1.21	-1.43	-1.43	-0.22	0.00
	" 53	" 第2	250~260	1. 5	-5.61	-5.23	-5.30	-5.14	-0.07	0.16
	" 54	" 第3	300~315		-5.69	-5.32	-5.33	-5.16	-0.01	0.17
葛 飾 区	研 32	新 足 立	224~234	0. 0	-4.72	-4.31	-4.44	-4.27	-0.13	0.17
	研 55	伊 興	87~115	3. 4	-4.94	-4.20	-4.79	-4.79	-0.59	0.00
足 立 区	研 42	神 明 南 第1	99~104		-6.62	-6.21	-6.68	-6.59	-0.47	0.09
	" 43	" 第2	170~177	1. 2	-8.24	-7.73	-8.50	-8.46	-0.77	0.04
足 立 区	" 44	" 第3	304~330		-5.25	-4.85	-4.81	-4.73	0.04	0.08
	研 103	小 台 第1	40~ 45		-2.18	-1.87	-1.99	-1.90	-0.12	0.09
足 立 区	" 104	" 第2	148~160	1. 5	-2.53	-2.20	-2.23	-2.11	-0.03	0.12
	" 105	" 第3	212~234		-2.05	-1.75	-1.74	-1.63	0.01	0.11
足 立 区	研 62	舍 人 第1	22~ 27		-7.97	-7.83	-7.70	-7.58	0.13	0.12
	" 63	" 第2	172~184	3. 4	-4.97	-4.18	-5.02	-5.00	-0.84	0.02
	" 64	" 第3	290~302		-1.72	-1.25	-1.27	-1.05	-0.02	0.22
葛 飾 区	研 41	高 砂	118~123	1. 3	-4.98	-4.69	-4.79	-4.70	-0.10	0.09
板 橋 区	研 24	戸 田 橋 第1	258~268		5.19	5.65	5.97	6.06	0.32	0.09
	" 25	" 第2	103~113	2. 9	0.19	0.74	0.48	0.55	-0.26	0.07
板 橋 区	" 26	" 第3	51~ 59		-0.27	0.36	0.13	0.18	-0.23	0.05
	研 36	板 橋	188~199	28. 6	4.36	4.63	4.74	4.86	0.11	0.12
練 馬 区	研 56	上 赤 塚 第1	111~122		7.90	8.08	7.81	7.84	-0.27	0.03
	" 57	" 第2	189~211	27. 4	11.29	11.80	12.23	12.33	0.43	0.10
練 馬 区	" 58	" 第3	327~355		11.20	11.83	12.34	12.45	0.51	0.11
	研 34	練 馬 第1	87~ 97	42. 0	17.58	17.55	17.33	17.31	-0.22	-0.02
	" 35	" 第2	185~195		14.80	14.93	15.16	15.71	0.23	0.55
新 宿 区	研 33	新 宿	114~125	32. 9	12.07	12.16	11.92	12.13	-0.24	0.21
杉 並 区	研 110	杉 並	115~143	37. 1	27.90	28.03	28.34	28.27	0.31	-0.07
世 田 谷 区	研 111	世 田 谷	87~109	41. 2	35.20	34.90	34.44	34.56	-0.46	0.12
目 黒 区	研 112	目 黒	125~147	17. 3	14.46	14.61	14.77	14.72	0.16	-0.05
千 代 田 区	研 113	千 代 田 第1	19~ 28	15. 1	6.58	6.66	6.56	6.56	-0.10	0.00
	" 114	" 第2	92~109		5.00	4.80	4.56	4.76	-0.24	0.20

- (注) 1. この表の地下水位は、各年12月31日の日平均地下水位である。
2. 篠崎第1～第3は、江戸川河川堤防工事に伴い観測を休止し、令和5年8月末で水位計を撤去した。このため、C欄は12月26日、D欄は12月18日の手観測による実測値である。
3. 舎人第1のA欄は12月21日、B欄は12月21日、C欄は12月12日、D欄は12月17日の各実測値である。
4. 舎人第1の水位は令和3年6月に水質分析のために実施した採水以降、回復がきわめて緩慢なため、参考値とした。

表-3(2) 観測井の地下水位と変動量（多摩地域）

基準面:T. P. 単位:m

地 域	鉄管 No.	観 测 井 名	ストレーナ の 深 さ (m)	観測井 付近の 地盤高	令和3年 12月31日 A	令和4年 12月31日 B	令和5年 12月31日 C	令和6年 12月31日 D	R4~5年の 変動量 C-B	R5~6年の 変動量 D-C
東久留米市	研 59	東久留米 第1	85~ 90	39. 8	18. 57	18. 78	19. 71	21. 33	0. 93	1. 62
	" 60	" 第2	158~169		20. 81	21. 55	21. 65	23. 28	0. 10	1. 63
	" 61	" 第3	393~417		22. 73	23. 53	24. 28	25. 03	0. 75	0. 75
調布市	研 67	調 布 第1	20~ 25	33. 9	28. 40	27. 93	27. 62	27. 98	-0. 31	0. 36
	" 68	" 第2	43~ 53		22. 98	23. 46	22. 62	23. 08	-0. 84	0. 46
	" 69	" 第3	84~ 95		22. 38	23. 02	22. 09	22. 60	-0. 93	0. 51
	" 70	" 第4	146~162		23. 52	24. 06	23. 27	24. 06	-0. 79	0. 79
清瀬市	研 71	清瀬 第1	77~ 83	44. 2	23. 20	23. 35	22. 98	24. 12	-0. 37	1. 14
	" 72	" 第2	158~186		18. 33	19. 09	19. 22	20. 53	0. 13	1. 31
	" 73	" 第3	385~407		21. 95	22. 68	23. 43	24. 19	0. 75	0. 76
東大和市	研 74	東大和 第1	75~ 81	97. 2	59. 43	60. 21	60. 49	61. 58	0. 28	1. 09
	" 75	" 第2	154~165		33. 99	35. 10	36. 14	36. 65	1. 04	0. 51
	" 76	" 第3	226~248		28. 48	29. 71	30. 82	30. 18	1. 11	-0. 64
立川市	研 77	立 川 第1	90~102	75. 0	71. 71	72. 00	72. 33	72. 89	0. 33	0. 56
	" 78	" 第2	238~255		71. 34	71. 74	72. 03	72. 76	0. 29	0. 73
小金井市	研 79	小金井 第1	71~ 83	71. 3	28. 25	29. 16	29. 13	30. 48	-0. 03	1. 35
	" 80	" 第2	140~151		29. 17	30. 00	29. 71	30. 99	-0. 29	1. 28
	" 81	" 第3	243~259		32. 17	33. 14	32. 76	34. 33	-0. 38	1. 57
武蔵村山市	研 108	小金井南 第1	114~125	46. 8	31. 65	31. 85	31. 19	32. 66	-0. 66	1. 47
	" 109	" 第2	167~189		31. 49	31. 55	30. 98	32. 66	-0. 57	1. 68
府中市	研 82	武蔵村山 第1	94~100	124. 5	96. 68	96. 55	96. 23	98. 68	-0. 32	2. 45
	" 83	" 第2	164~175		69. 24	70. 63	70. 78	72. 88	0. 15	2. 10
	" 84	" 第3	254~265		64. 91	65. 83	66. 24	68. 62	0. 41	2. 38
東村山市	研 85	府 中 第1	28~ 33	69. 0	54. 48	54. 62	52. 36	54. 91	-2. 26	2. 55
	" 86	" 第2	142~153		50. 25	50. 86	49. 71	51. 39	-1. 15	1. 68
	" 87	" 第3	213~241		42. 56	44. 94	47. 04	47. 51	2. 10	0. 47
八王子市	研 88	東 村 山 第1	37~ 42	62. 7	57. 94	57. 50	56. 94	57. 24	-0. 56	0. 30
	" 89	" 第2	170~181		31. 92	33. 12	32. 93	34. 48	-0. 19	1. 55
	" 90	" 第3	257~273		27. 23	28. 37	28. 36	29. 78	-0. 01	1. 42
瑞穂町	研 91	八 王 子 第1	88~100	109. 1	89. 04	89. 00	89. 16	89. 57	0. 16	0. 41
	" 92	" 第2	148~175		88. 89	88. 89	89. 11	89. 56	0. 22	0. 45
多摩市	研 93	瑞 穂 第1	76~ 93	142. 3	88. 91	89. 42	88. 72	90. 44	-0. 70	1. 72
	" 94	" 第2	142~169		82. 66	83. 01	82. 56	83. 41	-0. 45	0. 85
稻城市	研 115	新 多 摩	92~125	49. 5	54. 78	55. 23	55. 12	55. 43	-0. 11	0. 31
	" 96	稻 城	189~211		31. 44	35. 06	35. 83	31. 72	0. 77	-4. 11
町田市	研 97	町 田 第1	72~ 84	61. 8	59. 26	58. 97	60. 11	60. 31	1. 14	0. 20
	" 98	" 第2	147~169		34. 27	34. 24	34. 26	34. 38	0. 02	0. 12
三鷹市	研 106	町 田 南 第1	42~ 53	53. 1	30. 86	30. 64	30. 35	30. 24	-0. 29	-0. 11
	" 107	" 第2	176~203		37. 72	37. 86	37. 98	37. 87	0. 12	-0. 11
昭島市	研 99	三 鷹 第1	97~113	55. 5	24. 53	25. 15	24. 97	24. 88	-0. 18	-0. 09
	" 100	" 第2	178~233		17. 94	18. 98	18. 36	18. 89	-0. 62	0. 53
昭島市	研 101	昭 島 第1	92~103	119. 3	71. 19	71. 94	72. 30	73. 18	0. 36	0. 88
	" 102	" 第2	187~210		66. 96	68. 10	68. 72	69. 79	0. 62	1. 07

(注) 1. この表の地下水位は、各年12月31日の日平均地下水位である。

2. 新多摩の地下水位は自噴のため測定できなかったが、令和3年3月9日から水圧計により測定を再開した。

### 3. 地盤沈下状況の経過

#### (1) 地下水揚水量の推移

東京都における地下水揚水量の推移及び地下水位との関係等についての説明は、「令和5年地盤沈下調査報告書」<sup>1)</sup>を参照されたい。

なお、揚水量は昭和49年から漸減傾向を示している。環境局の資料によると令和5年の揚水量は、区部2万8千m<sup>3</sup>/日、多摩地域23万9千m<sup>3</sup>/日となっている<sup>2)</sup>。

#### (2) 地下水位の経年変化

主な観測井における地下水位の経年変化を地域別に示したものが図-7から図-13である。

区部の低地にある観測井のうち、江東区及び墨田区の地下水位は、昭和40年頃まで低下していたが、江東地区は昭和43年頃からは上昇に転じている(図-7の研15、16)。

昭和46年以降、工業用水法による規制の強化、工業用水の地下水から工業用水道への転換、ビル用水法による地下水汲上げの規制強化などにより、区部

全体の揚水量が大幅に減少した。

この結果、江東地区、城北地区等での地下水位(図-7、8)は、規制直後から昭和58年まで急激に上昇した。しかし、その後の地下水位の上昇量は小さく、全般的には上昇傾向は減少している。

多摩地域の地下水位は、観測井の整備に伴って昭和48年頃から徐々に明らかになった(図-11、12、13)。それによると、観測開始以来、地下水位は全般的に上昇の傾向を示している。しかし、昭和50年代には一部の観測井で地下水位が低下した(図-11)。これは、この年に異常渇水が生じたため河川水の取水が制限を受け、その不足分を補うように夏期に上水用などとして、地下水の揚水量が増加したためである。このように多摩地域では地下水の主要用途が上水道水源であるため、地下水位は各年の水需給の影響を受けやすい状態にある。

なお、近年の地下水位の変動状況をみると、水位上昇の傾向も全体的には落ち着きつつある。

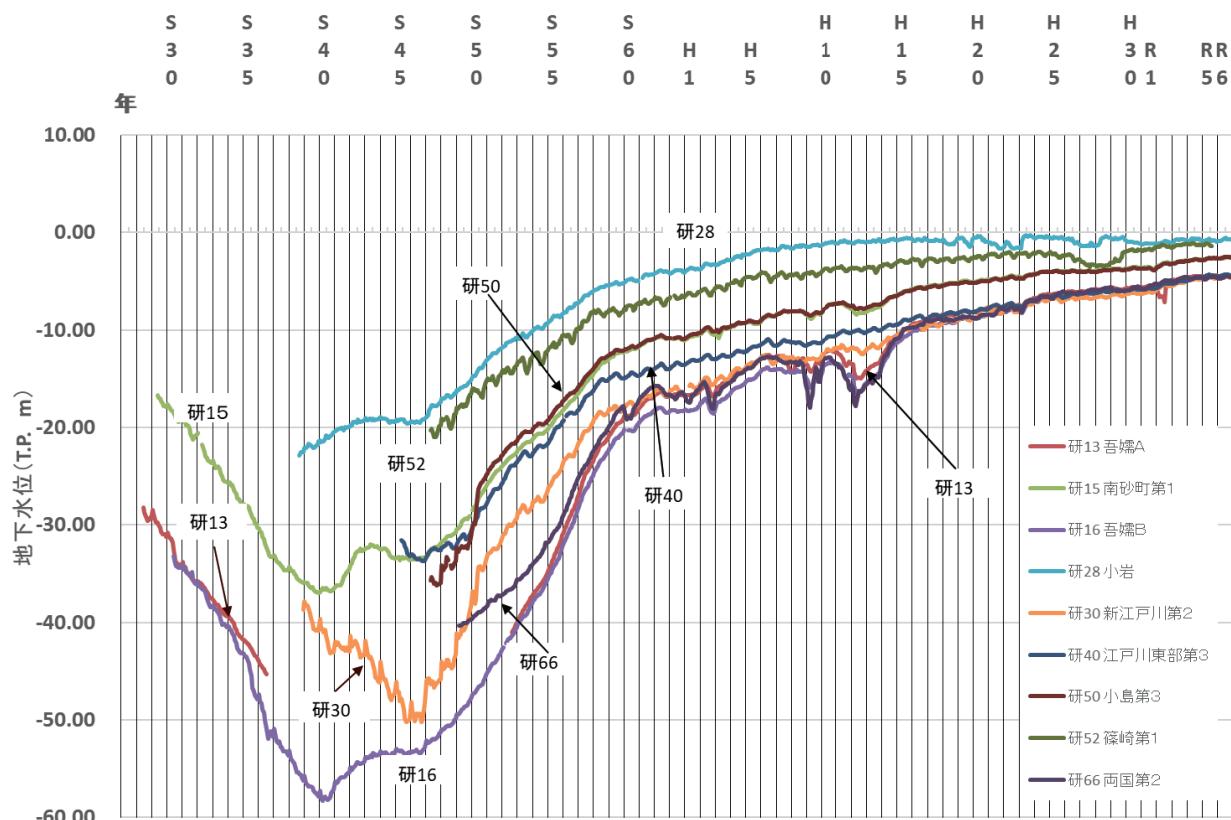


図-7 主な観測井の地下水位変動図（江東区、墨田区、江戸川区）

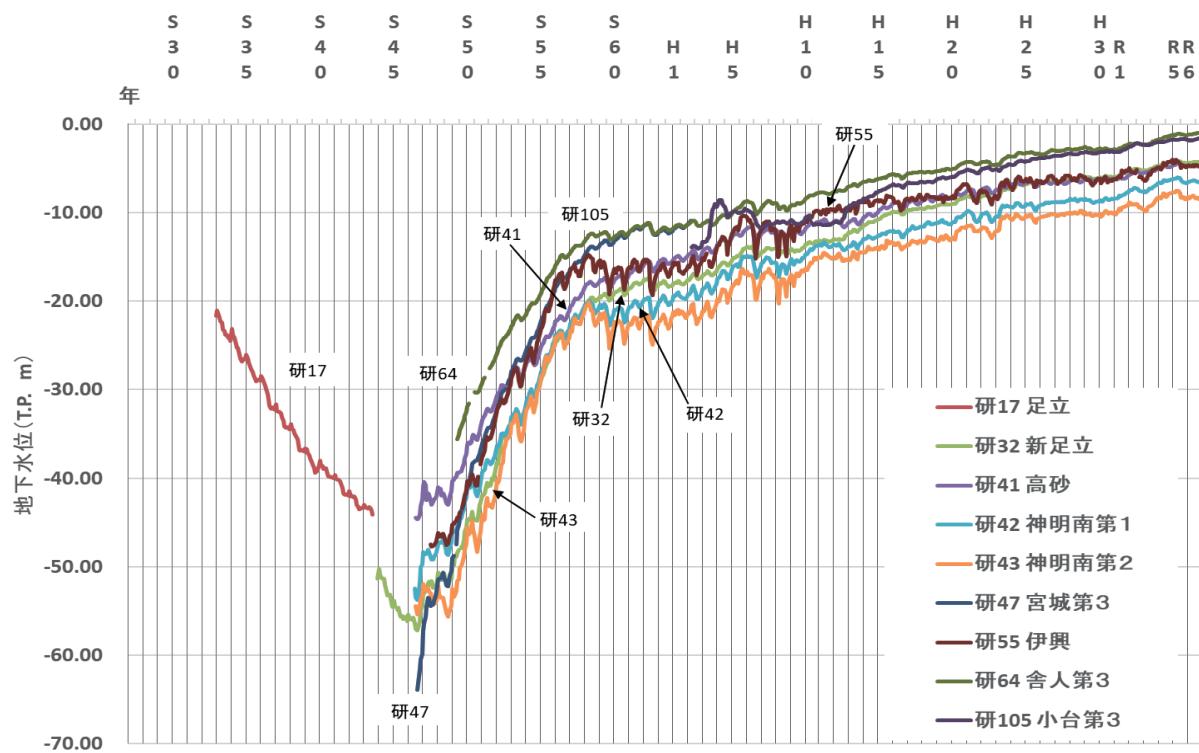


図-8 主な観測井の地下水位変動図（足立区、葛飾区）

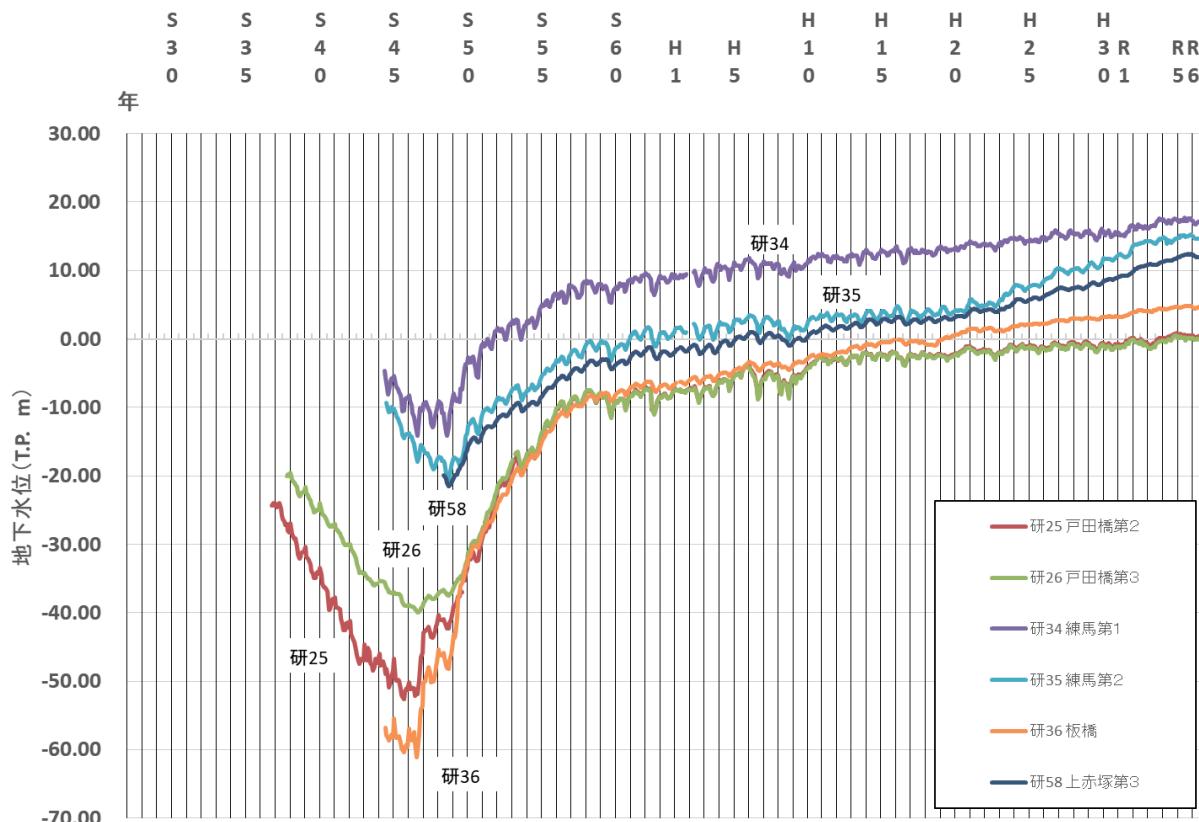


図-9 主な観測井の地下水位変動図（板橋区、練馬区）

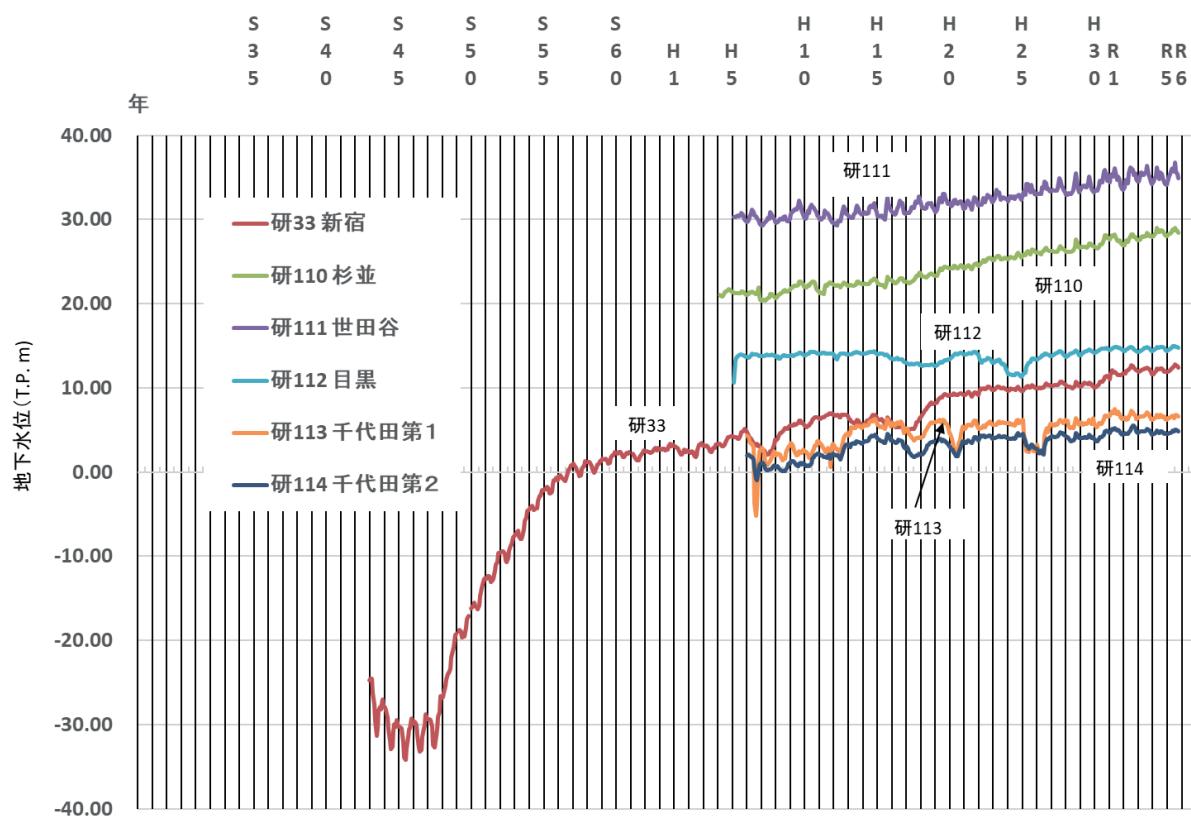


図-10 主な観測井の地下水位変動図（新宿区、杉並区、世田谷区、目黒区、千代田区）

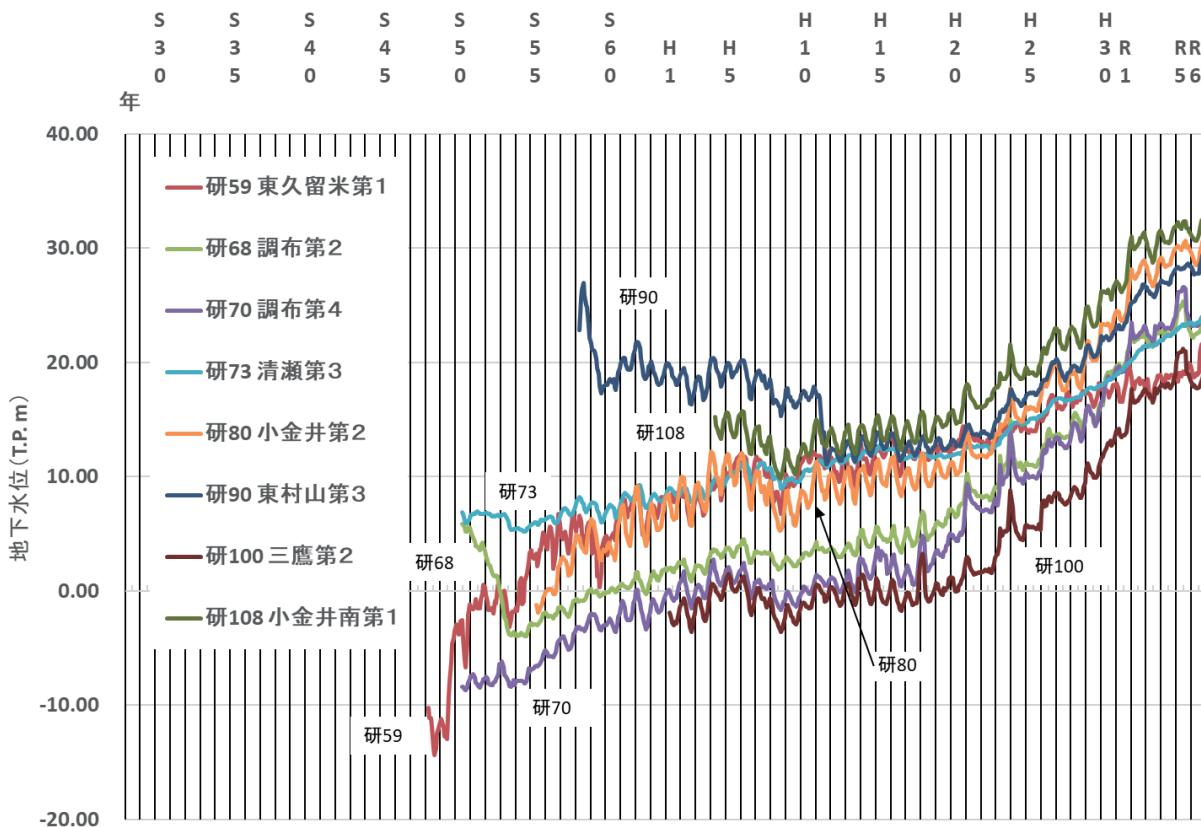


図-11 主な観測井の地下水位変動図（東久留米市、清瀬市、東村山市、小金井市、調布市、三鷹市）

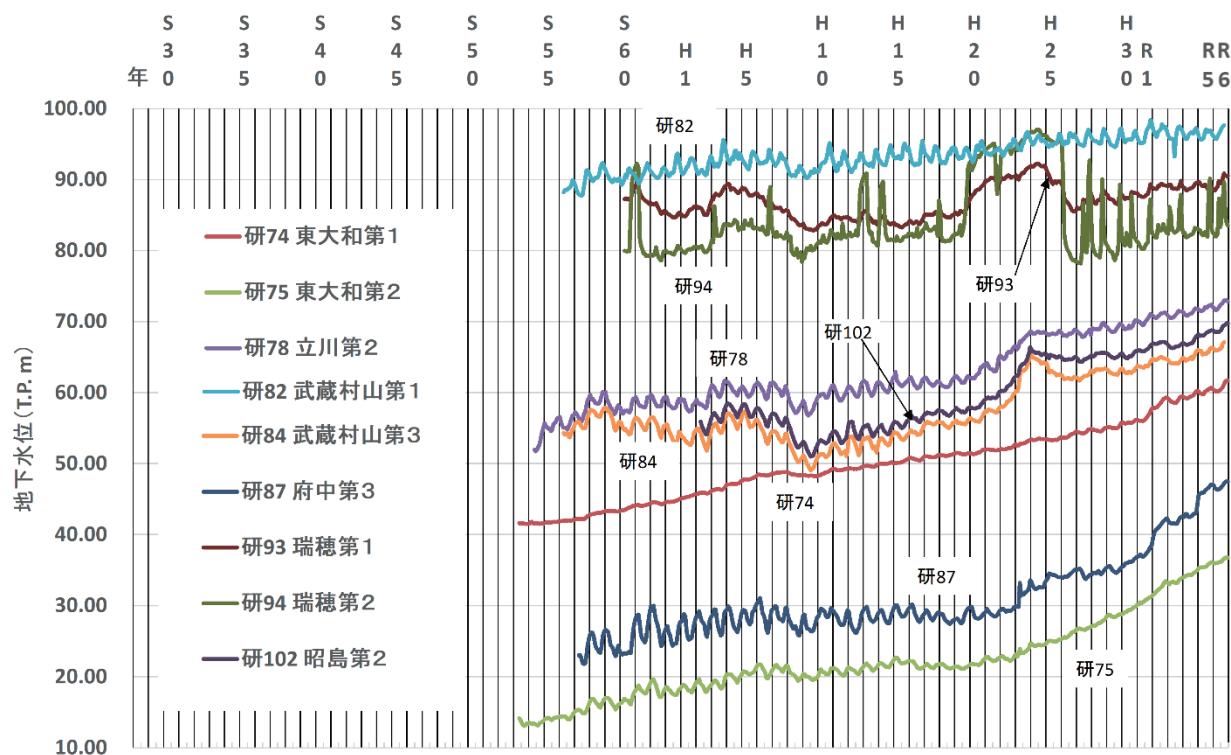


図-12 主な観測井の地下水位変動図（東大和市、武藏村山市、瑞穂町、昭島市、立川市、府中市）

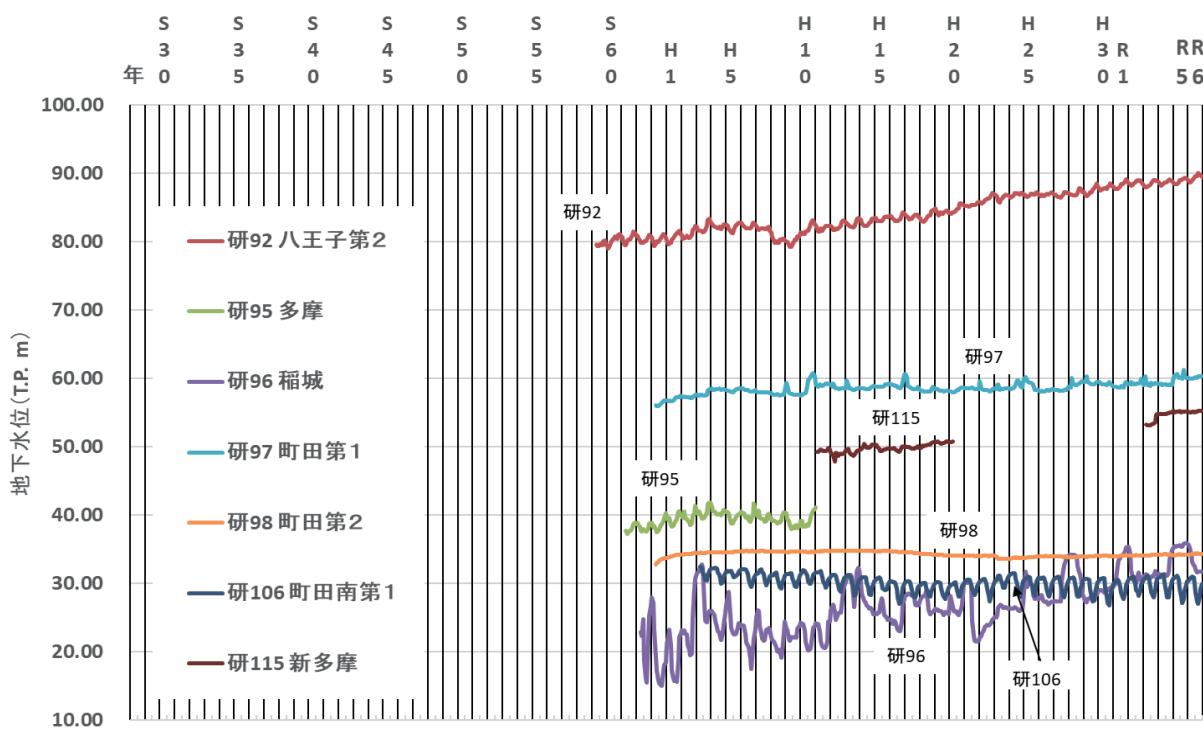


図-13 主な観測井の地下水位変動図（八王子市、多摩市、稲城市、町田市）

### (3) 地盤沈下の状況

東京都内の地盤沈下状況は、図-14の主要水準基標の累積沈下量図がその経過をよく示している。

これまでの地盤沈下の歴史及び観測井の記録による地層別の地盤沈下状況の変遷については「令和6年地盤沈下調査報告書」<sup>1)</sup>を参照されたい。

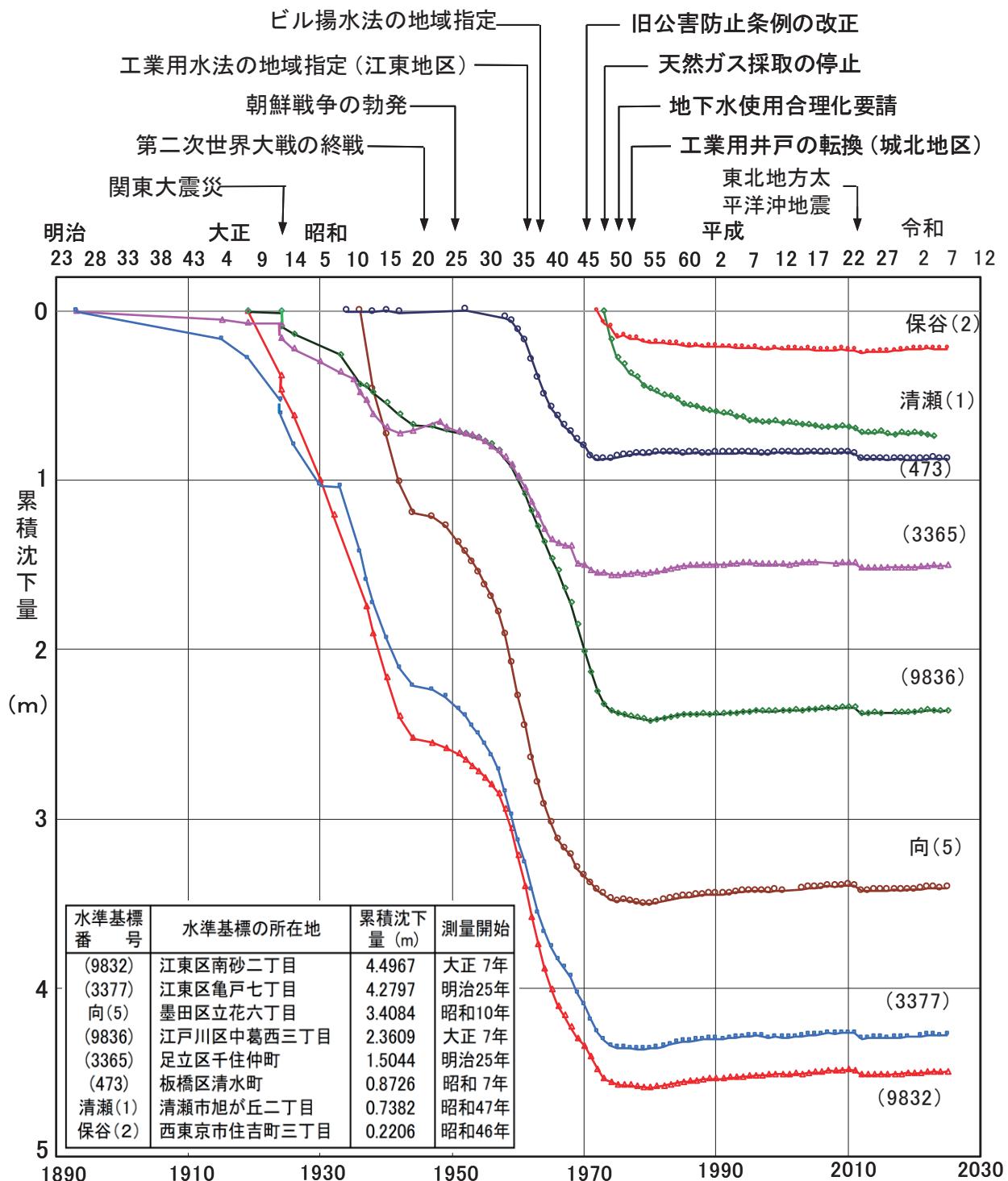


図-14 主要水準基標の累積沈下量図

#### 4. まとめ

令和6年の地盤沈下状況については、区部、多摩地域とともに2cm以上沈下した地域はない。調査結果の冒頭にも述べたように、1cm以上沈下したのは区部の0.2km<sup>2</sup>であり、最大沈下量は文京区千石一丁目にある水準基標、小(12)の1.17cmである。また、各地に設置している観測井による地層別の変動状況をみると、深層部（鉄管底から下の地層の変動量）では区部、多摩地域とも膨張を示す観測井が多い。一方、浅層部（地表面から鉄管底までの間の地層の変動量）では、区部は収縮を、多摩地域は膨張を示す観測井が多い。前年の令和5年と比較すると、区部の深層部及び多摩地域の浅層部で収縮から膨張に転じた観測井が多くみられる。

地下水位の1年間の変動状況をみると、42地点のうち37地点（区部21地点、多摩地域16地点）で上昇した。その変動状況を観測井ごとにみると、地下水

位は91観測井のうち79井で上昇し、低下したのは8井である。上昇量が最も大きいのは府中市武藏台二丁目にある府中第1観測井の2.55mであり、低下量が最も大きいのは稲城市矢野口の稲城観測井の-4.11mである。なお、足立区舎人六丁目にある舎人第1観測井の水位は、令和3年6月に水質分析のために実施した採水以降、回復がきわめて緩慢なため参考値とし、集計には加えていない。

地盤沈下調査は、昭和15年から継続して実施しており、結果は低地防災対策、環境行政、都市基盤施設整備の推進に活用されている。地盤沈下は、かつての厳しい状況は脱したとはいえ、過去の渇水年には揚水量が増加し地盤沈下が進行した事例もあることから、今後も適切な地下水揚水規制を図るべきであり、地盤沈下調査も継続して実施していく必要がある。

#### 参考文献

- 1) 東京都土木技術支援・人材育成センター（2025）：令和6年地盤沈下調査報告書
- 2) 東京都環境局（2025）：令和5年都内の地下水揚水の実態（地下水揚水量調査報告書）